

液肥 + 透水源で効きめ倍増！！

鉢土全体に水がしみ込む→液肥の効きめ倍増→抜群の生育

「水掛け3年」といわれるように、植物の栽培で、最もむずかしい作業のひとつが水掛けです。

細かい培養土や突き固め植付法も、鉢土に水を均一にしみ込ませるために、有効な方法です。

しかし、これでもなかなか、鉢土全体に均一に水はしみ込みません。

すき間のできやすい外周部や水分のある部分を主に水はしみ込み、鉢底に流れていきます。

乾いた部分は発水性が高く、水はしみ込みません。ひどい場合は、培養土の半分以下の部分しか水はしみ込んでいません。

水がしみ込まない所に液肥は効かない。
乾燥肥料も水に溶けなければ根は吸えない。
鉢土の乾いた所に根は伸びない

こうしてみると、水掛けは、生育を直接左右する、重大な問題であることがわかります。

透水源を栽培の初期から定期的に使用すれば、鉢土全体に均一に水がしみ込み、これらの問題は発生しません。

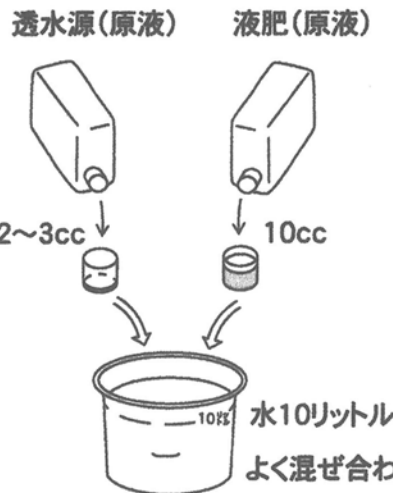
これは鉢土全体に根が張ったか、全体の根から水や肥料を吸ったか、(鉢土全体の土を有効に使ったか、一部しか利用できなかったのか)その差が秋には大きな生育の差となって現われます。

液肥と透水源は併用が基本です!!
(液肥に透水源3,000~5,000倍になるように混合)

こんな方法も効果的 !!

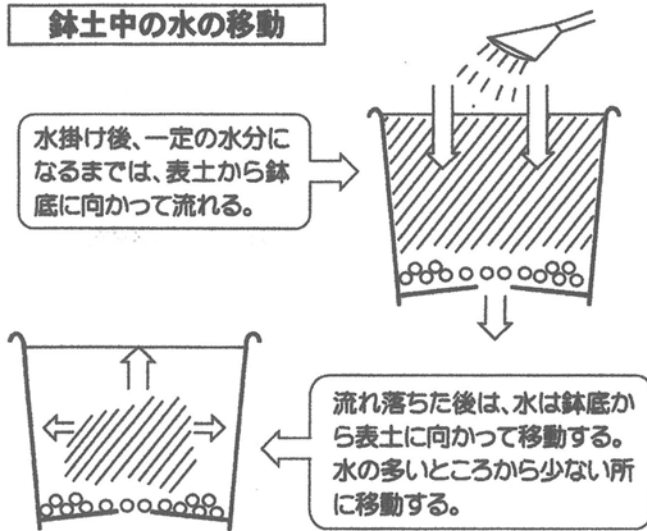
液肥と透水源の混合法
透水源を3,000~5,000倍、
液肥を、1,000倍にうすめる例

※原液(希釈前)同士は混ぜない。薄めるときに水に混ぜる。



- ① 水の量に合わせ、液肥を規定の倍率になるように混入します。
- ② 透水源も同様に3,000~5,000倍になるように混入します。
- ③ 良く混ぜ合わせて使用して下さい。

鉢土中の水の移動



使用法 …… こんな時、こんな使い方

【水 掛 け】

- 水掛けの都度 …… 3,000~5,000倍
- 液肥と混合 …… 3,000~5,000倍
- 水がしみ込みにくくなった時 …… 1,000~2,000倍

【土 づ くり】

- 腐葉土積み込み、培養土混合の時 …… 2,000~3,000倍
- 赤玉土の改良、水分調整 …… 2,000~3,000倍

【サシ芽、切花の水上げ】

…… 1,000~2,000倍

【そ の 他】

- 排水の悪い庭、家庭菜園など …… 1,000~2,000倍

お申込み・お問い合わせは

ウチダケミカルコーポレーション

TEL 029-869-1777 FAX 029-869-1666

〒300-4204 茨城県つくば市作谷1711-12 郵便番号 00820-6-96628